

釜・大街道地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/2 18：00～19：10

対 象 町 名：三ッ股二丁目、三丁目

総参加者数：178名（参加地権者数：168名／197名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（40分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（80分程度）

- ・三ッ股二丁目で自宅を直して住んでいる。台風15号の時、地盤が低いため家の庭まで浸水した。下水道も復旧しておらず、しばらく水がはけなかった。高盛土道路を造るのも良いが、地盤を戻してほしい。
⇒70cm～80cmの地盤沈下が起こっています。下水も泥を取り切れていない状況もあるため、そのような状況が起こったものと思われます。状況は下水道課に伝え、適切な対処を取るよういたします。
- ・この辺りは海側に近く、60代の方が多く住んでいる。いざ避難となったとき、釜小学校まで走って逃げるのは、今後つらくなるだろう。釜小学校との中間地点に避難所を設けてほしい。
⇒まちづくりの中で避難できる場所を設けていきたいと考えていきます。
- ・復興方針図の中に緑色のエリアがあるが、説明はなかった。これは何か。
⇒公園をイメージしています。今回の復興に合わせ、この地区の住環境をより良いものにしていくことも考えられます。先ほどコンサルから区画整理や住宅地区改良事業の提案がありましたが、そういった事業と併せて整備することも考えています。
- ・今後の話として理解した。
- ・住居系ゾーンに住んでいる人には、住宅建設費に対する補助がないという説明であったが、ローンを組むことが難しい高齢者にとって災害公営住宅は非常に重要と考える。説明の中で3000戸と決め打っているような話があったが、この戸数は弾力的に対応してもらえるのか。要望が多い場合はどのように対処するか。
⇒要望に応える覚悟があります。

- ・スケジュールでは、災害公営住宅でも4～5年かかる。仮設住宅や借り上げアパートの期限が2年間という中で、2～3年の空白期間が生じる。この期間についてどういった考えを持っているか。

⇒被災した沿岸市町村で共通の課題を抱えています。仮設住宅等の入居期限については延長するよう国に要望しているが、まだ国から返事は来ていません。回答が来れば皆様にお知らせします。
- ・住居系ゾーン内でも流失・撤去の人は災害公営住宅に入れるという説明だったが、蛇田には行けるのか。

⇒あくまで移転事業の対象者は産業系ゾーンの人のみです。
- ・高盛土道路について一つお願いがある。道路の線を明確に引いているが、(道路用地上でなくとも)道路に近い人は影響を受けるため、幅50mの範囲など猶予を以て対応してほしい。

⇒下図としている地形図の精度が甘い状況であるため、今後測量した後でないとも明確な法線は出せません。この線はあくまで目安とお考えください。
- ・地盤沈下が起こっている中で、現地で再建した場合、排水がうまくいかないことはわかりきっている。どのように対応するのか、確認したい。

⇒排水は震災以前からの課題です。釜ポンプの排水区は3kmの長さを持っているため、下水道計画をもっと見直さなければなりません。排水の範囲を見直して、ポンプ場をブロックごとにこまめに設けるなどの対応を行いたいと考えています。
- ・三ッ股三丁目は、黄色か水色か。

⇒後ほど前にお越しくください。住宅地図で確認します。
- ・高盛土道路は三陸道のような形になると思うが、道路に乗るためのインターのようなものができるのか。

⇒三陸道は自動車専用道ですが、高盛土道路は一般自動車道です。要所要所でスロープを設け、平面交差となる予定です。
- ・大街道(国道398号)を片側2車線にする、という考えはないか。

⇒高盛土道路や矢本流留線の整備により交通量が分散するため、混雑は緩和されると思います。大街道自体の改良については、国道なので国にお伝えします。
- ・住居系ゾーンで区画整理を行うか。行う場合、期間はどれくらいになるか。元の土地の面積が確保できるのか。

⇒意向調査を行い、皆様のお考えを確認しながら決定していきます。期間や個々の土地面積なども調査を行ったうえでご説明いたします。(オオバ)

- ・(町内会長から参加者へアナウンス) 今後、町内会として地域の意見を取りまとめ、市に要望していきたい。そのうえで説明会を行う。説明会にあたっては、現地に住んでいない人のために新聞広告をうつ。ご協力をお願いします。

以上